

KVK

取替用壁付シングルレバー式混合栓
KM5000U・KF5000U 〈各仕様共通〉

施工説明書

施工業者様へ


施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。
■この取扱説明書はKM5000U仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

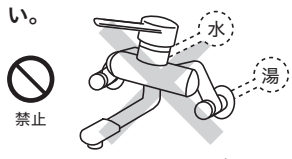
- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

**警告**


湯水を逆に配管しないでください。



禁止

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。


給湯に蒸気を使用しないでください。



禁止

器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。


給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。



禁止

85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。


寒冷地仕様の場合
水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。



禁止

水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

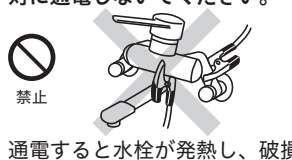
加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。



禁止

器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。


配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。



禁止

通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。


器具に強い力や衝撃を与えないでください。



禁止

器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。


ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側ソケットが熱くないことを確認してください。




！

高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。


他所の水栓の使用等により水压変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。



やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水压変動をおさえた配管設備にしてください。

**注意**


めっき部品はぶついたり落したりしないでください。
鋭利な物や硬い物を当てないでください。



禁止

めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。

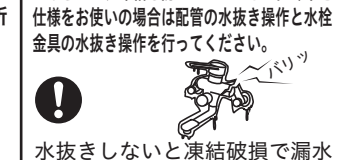
めっきシャワーヘッド仕様の場合
めっきシャワーヘッドは、公衆浴場・レジャー施設等、不特定多数の方が頻繁に利用する場所では使用しないでください。



禁止

めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。

凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。



！

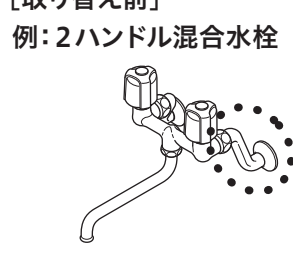
水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

取り付け前に


- ① 使用水压（A=（給湯器の最低作動水压）+（配管圧力損失））
（1）瞬間給湯器との組み合わせ（設定条件 水温：25℃ 給湯器温度調節：高温 吐水温度：42℃ ハンドル全開）
〔比例制御式〕最低必要水压：A+50.0KPa（動水压）、最高水压：0.75MPa（静水压）
（2）貯湯式給湯器との組み合わせ
〔給湯・給水圧力〕最低必要水压：A+50.0KPa（動水压）、最高水压：0.75MPa（静水压）
- ② レバーハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、60℃以下の設定をおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造（加工および接合、市販浄水器具の取り付け等）によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取り付け完成図と各部の名称

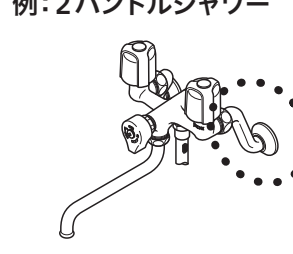
〔取り替え前〕
例：2ハンドル混合水栓




〔取り替え後〕
KM5000U



例：2ハンドルシャワー



KF5000U（シャワー仕様）



取り替え簡単
既存のソケットは残したまま！

レバーハンドル

本体

吐水口

レバーハンドル

本体

吐水切換ハンドル

吐水口

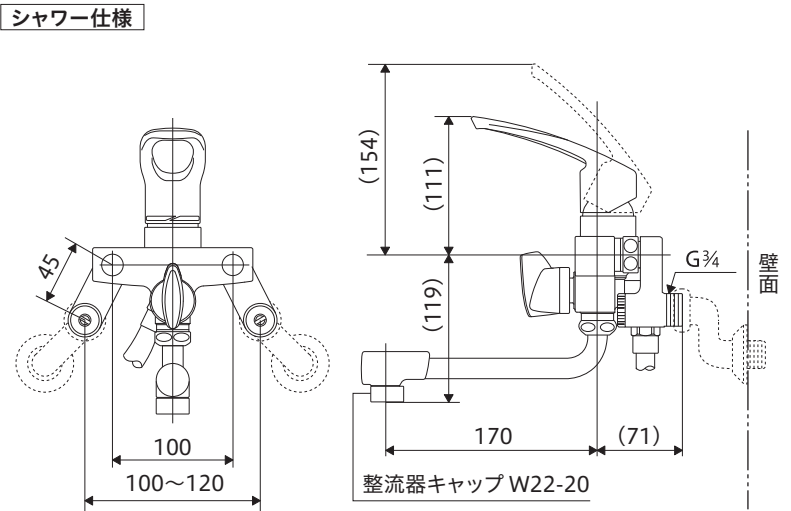
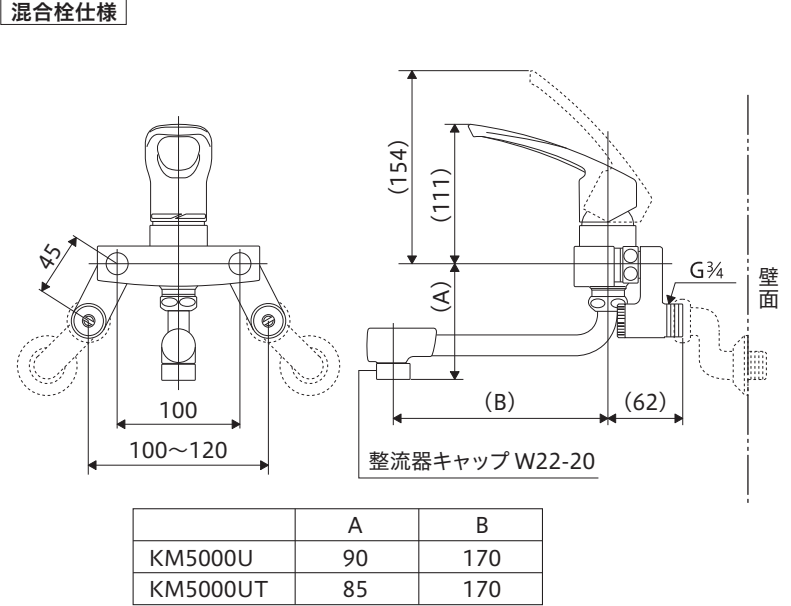
シャワーヘッド

シャワーホース

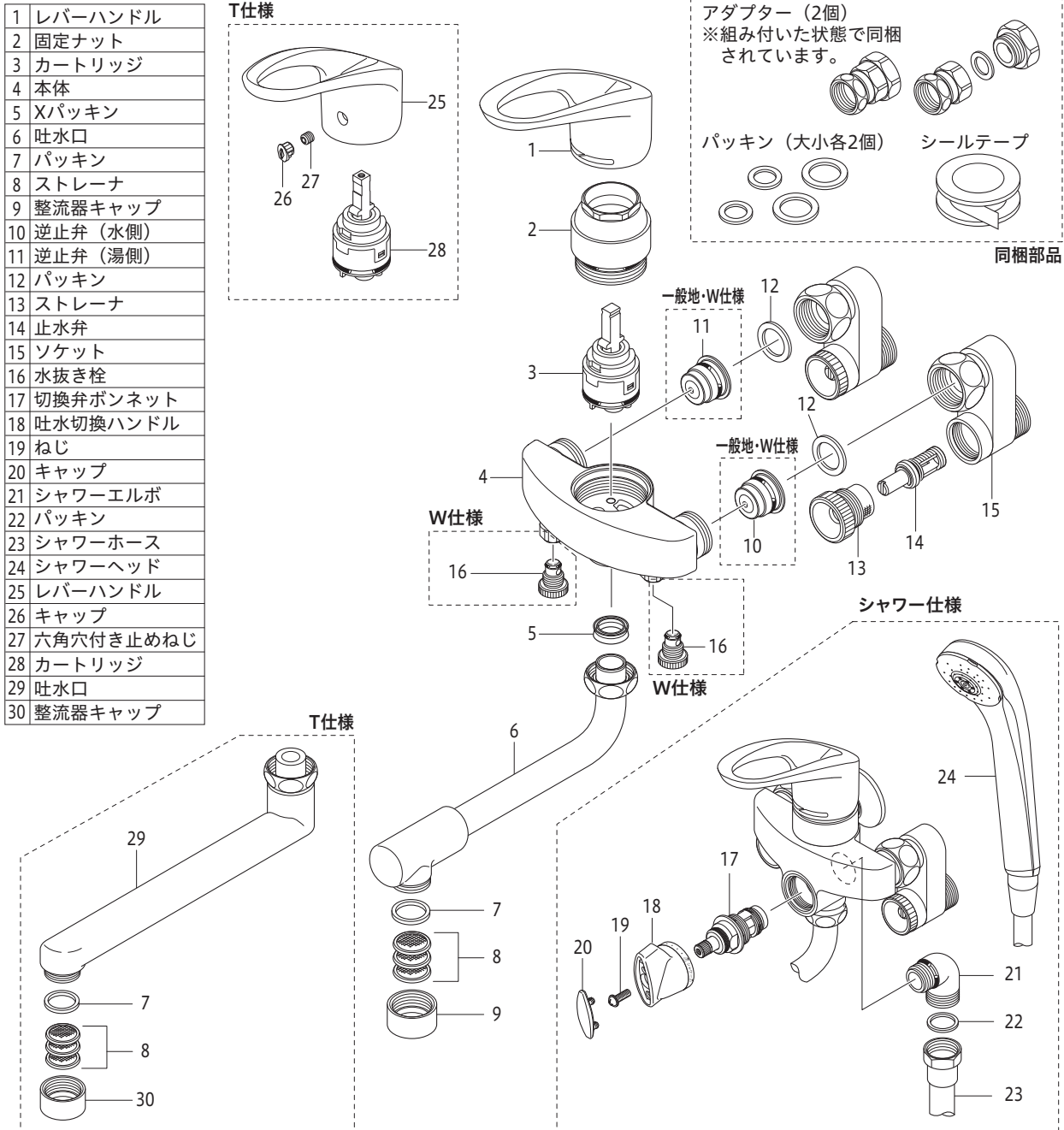
寸法図／分解図

部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

寸法図 アダプターを使用した場合は、前出寸法などが大きくなります。



分解図 この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。



取り付け手順（本製品は既存品のソケットを付けたまま簡単に取替できます。）

1

給水管内の清掃
配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

2

既存の水栓本体の取りはずし

既存の水栓本体を取りはずします。既存のソケットがゆるまないように十分手で保持しながらはずしてください。（図1）

【お願い】 既存のソケットが壁に垂直にねじ込まれており、湯側と水側のパッキン面が段違いになっていないことを確認してください。（図2）

【△注意】 既存のソケット部に腐食、ひび割れ、漏水などのないことを十分に確認してください。腐食やひび割れがあると、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

（図1）

（図2） 上から見た図

3-1

ソケットと本体の取り付け

① 既存のソケットに本製品のソケットを仮固定します。（図1）

【お願い】 ソケットは図2のような形になるよう取り付けてください。

（図1）

（図2） 前から見た図

アダプターを取り付けた場合は前出寸法などが大きくなります。
既存のソケットの仕様によって、本製品のソケットと既存のソケットの間に取り付けるパッキンの大きさ、アダプターが異なります。（表1）を参照して取り付けてください。

【△注意】この時、古いパッキンを取りはずし、付属の新しいパッキンと必ず交換してください。交換されていないと漏水するおそれがあります。

3-2

（表1）

現在お使いの水栓のソケット	接続に必要な使用部品
<div>G3/4</div> <div>KVK、TOTO、LIXIL、INAX、カクダイ、SAN-EI（ナット付）</div>	<div>大パッキン</div> <div>既存のソケット</div> <div>本製品のソケット</div> <div>大パッキン</div>
<div>G3/4</div> <div>φ18</div> <div>MYM（ナット付）</div>	<div>小パッキン</div> <div>小パッキン</div>
<div>G3/4</div> <div>KVK、TOTO、カクダイの一部（ナット無し）</div>	<div>大パッキンとアダプター</div> <div>アダプター（ナットを一部はずす）</div> <div>アダプター</div> <div>大パッキン</div>
<div>W30-20</div> <div>KVKの一部（ナット無し）</div>	<div>大パッキンとアダプター</div> <div>アダプター</div> <div>大パッキン</div>

※2ハンドル混合栓専用です。上記以外のネジには接続できません。

② 水栓本体を仮固定して本体が水平になったら、工具を使って増し締めします。

①で仮固定した箇所も同様に増し締めします。

【△注意】 締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

水栓を仮固定してから4か所増し締め

パッキン

水栓本体

4

シャワーホースと吐水口の取り付け

① シャワー仕様のみ
シャワーホースをシャワーエルボに接続します。

② 吐水口を吐水口接続部に接続します。
締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。

【お願い】 締め付ける際はキズが付かないよう、当て布等をしてください。

シャワーエルボ

吐水口接続部

Xパッキン

① シャワーホース

② 吐水口

取り付け後の点検と清掃

通水確認

【△注意】 水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ソケットと壁の間から水漏れがある場合は既存のソケットを取り付け直します。
その後取り付け手順 3より順番に取り付けてください。

既存のソケットの取り付け直し（水漏れがある場合）

① 元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。

② 既存のソケットを取りはずし、給湯・給水管内を清掃します。

③ 既存のソケットを仮ねじ込みします。

【お願い】 ・ソケットは壁に垂直にねじ込み、湯側と水側のパッキン面が段違いにならないように取り付けてください。（図1） ・湯側と水側ソケットを「ハ」の字形にして、間隔を100～120mmで取り付けてください。（図2）

取り付け位置を確認して、ソケットを取りはずします。
この時、ソケットを取りはずす回転数を覚えておきます。（図3）

（図1）上から見た図

（図2）前から見た図

（図3）

④ ソケットのネジ部に、同梱のシールテープを巻いて（図4）、③で数えた回転数分壁にねじ込みます（図5）。

【お願い】 ねじ込んだ部分のがたつく時はシールテープを多く巻いて調節してください。

（図4）

（図5）

ストレーナ清掃のお願い

ソケットと吐水口のストレーナにゴミ等がつまると、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合があったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

7 ページ

湯温・流量調節

レバーハンドルが正面を向いている位置で適温、全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。

レバーハンドル

正面の位置で適温

湯側止水弁

水側止水弁

あける

しめる

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現 象	お調べいただくところ	処 置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	（シャワー仕様のみ）止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません		—
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8 ページ「湯温・流量調節」
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	取扱説明書 5 ページ「ストレーナの清掃方法」
（シャワー）が弱い	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
	ストレーナは凍っていませんか	ストレーナにぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8 ページ「湯温・流量調節」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8 ページ「湯温・流量調節」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	8 ページ「湯温・流量調節」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	取扱説明書 5 ページ「ストレーナの清掃方法」
吐水が飛び散る	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	取扱説明書 5 ページ「ストレーナの清掃方法」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】 修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

8 ページ

403813-07